

② 環境・衛生関係事業

- ・清掃センター排ガス高度化事業（ダイオキシン対策：14～15年度） 2.3億円
- ・町整備型浄化槽設置事業（13～16年度） 1.5億円
- ・畜産経営環境整備事業（町単独 103件：12～16年度） 3.8億円
- ・畜産基盤再編総合対策事業（12～16年度） 8.2億円

③ その他の事業

- ・街路灯整備事業（16年度） 0.5億円
- ・土谷川筋等災害復旧・河川改良事業（14～16年度） 28.6億円

○ 予算規模が縮小する中での住民サービスの向上

- 〈利便性の向上〉例えば…
- ・総合窓口の開設と窓口のローカウンター化（13年度）
  - ・庁舎等主要施設の玄関の自動ドア化（14年度）
  - ・毎週1回、総合窓口の時間延長の実施（15年度～）
  - ・戸籍事務の電算化による待ち時間の解消（12年度）
  - ・町税等の口座振替の推進（12年度～）
  - ・通院バス運行の見直し（自由昇降区間設定等）（15年度～）
  - ・特定地域生活排水処理事業導入により、希望者から順次水洗化可能に（13年度～）

- 〈福祉サービス等の充実〉例えば…
- ・いきがいデイサービス事業等介護保険の非該当者対策の実施（13年度～）
  - ・長期療養者通院費助成事業の新設（13年度～）
  - ・中度心身障害者医療費助成事業の新設（13年度～）
  - ・乳幼児医療費助成事業の拡大（対象を4歳まで→就学前まで）（13年度～）
  - ・保育料引き下げ実施（12・15年度）
  - ・全保育園で延長保育を実施（12年度～）
  - ・全保育園で一時保育、放課後児童保育実施（13年度～）
  - ・福祉作業所（すずらん工房）開設支援（13年7月～）
  - ・募集による育英奨学資金の充実（11年度～）
  - ・60歳のつどい、40歳のつどいの実施（14年度～）
  - ・文化の薫るまちづくり推進（俳句の普及）事業（14年度～）

民間活力による産業振興（地域経済活性化・雇用対策）の展開

◎ 民間活力の活用

行政改革や財政健全化を進める中、公共事業費など大幅に抑制せざるを得ない状況下において、極力、町の予算に負担をかけない事業や施策の展開に努め、民間活力の導入による施設整備など、下記のような地域活性化や雇用対策にもつながるものに取り組んできました。

① 企業誘致等民間投資

- ・上外川風力発電所建設（15年度） 47億円
- ・介護老人保健施設アットホームくずまき建設（15年度） 11億円
- ・守山乳業葛巻工場増設（17年度） 20億円

② 第3セクター（社団法人葛巻町畜産開発公社、葛巻高原食品加工(株)、(株)グリーンテージくずまき）

・雇用者数	11年度	105人	→	16年度	150人	→	17年度	160人
・売り上げ	11年度	13億円	→	16年度	16億円			

③ 新エネルギーの推進（エネルギー自給率100%を目指す）

- ・袖山風力発電所（11年度） 3.4億円
- ・畜産バイオマス発電施設（15年度） 2.2億円
- ・家畜排せつ物による燃料電池の実証事業（13～17年度） 2.0億円
- ・上外川風力発電所（15年度） 47.0億円
- ・木質バイオマス発電施設（17年度） 2.5億円

▶ 観光客の増加など町内経済、全国への情報発信など波及効果の拡大

④ 交流人口の拡大（新エネルギー、第3セクターなど相乗効果）

- ・町内施設等への入込数調査 11年度 約19万4,000人 → 16年度 約47万1,000人  
くずまき高原牧場、ワイン工場 約22万人 道の駅、産直ハウスほすなある 約15万人  
新エネルギー推進効果（視察） 約5,000人  
森と風のがっこう、森のそば屋、まちの駅（葛巻駅）、みち草の驛などの民間活力

自立のための行財政改革に向けて

町では平成11年度以降、さまざまな行財政改革を実施してきました。しかし、中期財政見通しでは、平成21年度までの4年間で約12億8,700万円不足の見通しとなっています。このことから、町では行財政改革を一層推進していくため、平成17年度において「新・行革プラン」を策定することにしました。

当面合併はせず、自立の道を選択

自立可能な行財政基盤の構築

